

豊中市立文化芸術センター

ルネサンスからリゲティ、ヴァスクスまで。

時代を越えた奇跡のアンサンブル!

T. ウィールクス: いと高きにある神に栄光あれ

Thomas Weelkes: Gloria in excelsis Deo

T. トムキンズ: ダヴィデがアブサロムの殺されしを聞きしとき

Thomas Tomkins: When David Heard

W. バード: アヴェ・ヴェルム・コルプス

William Byrd: Ave verum corpus

J. S. バッハ: イエス、わが喜び

J.S. Bach: Jesu, meine Freude

A. ブルックナー: 正しき者の唇は知恵を語る

Anton Bruckner: Os Justi

: キリストはおのれを低くして

: Christus Factus est

: この場所は神が作り給う

: Locus iste

: アヴェ・マリア

: Ave Maria

: エサイの枝は芽を出し

: Virga jesse floruit

G. リゲティ: 永遠の光

György Ligeti: Lux Aeterna

P. ヴァスクス: 私たちの母の名

Pēteris Vasks: Our Mother's Names

*曲目は予告なく変更される場合がございます。

ラトヴィア 放送合唱団 〈大阪公演〉



© Jānis Deīnats

the *Latvian Radio Choir* in OSAKA

豊中市立文化芸術センター 大ホール

10²⁰²²
/ 23
Sun

15:00 開演
14:00 開場

全席
指定

S席: 5,000円 (club CaT: 4,500円 / U25: 2,500円)
A席: 4,000円 (club CaT: 3,500円 / U25: 2,000円)

※障害者手帳をお持ちの方は2割引(介助者1名含む)
※車いす席は、豊中市立文化芸術センターチケットオフィス窓口・電話のみの取扱
※未成年者の入場はご遠慮ください。
※U25チケットは、25歳以下の方が対象となります。公演当日、年齢のわかる証明書の提示をお願いします。

プ
レ
イ
ガ
イ
ド

- ◎ 豊中市立文化芸術センターチケットオフィス
TEL: 06-6864-5000(10:00~19:00 月曜休館)
<http://www.toyonaka-hall.jp/ticket/>
- ◎ 豊中市立ロゼ文化ホール《窓口のみ》(10:00~19:00 火曜休館)
- ◎ チケットぴあ《Pコード: 216-896》
- ◎ ローソンチケット《Lコード: 51379》

チ
ケ
ッ
ト
発
売
日

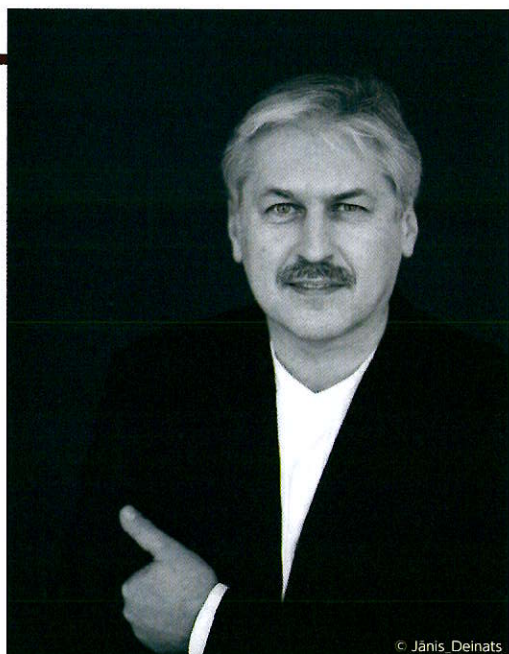
- ◎ club CaT 先行発売: 2022年6月2日(木)~6月8日(水)
※先行期間初日は10時よりWeb・電話にて販売開始。期間中は窓口での販売はございません。
- ◎ 一般発売日: 2022年6月9日(木)
※一般発売初日は10時よりWeb・窓口にて発売開始。残席があれば同日15時より電話でも受け付け開始。

主催: 豊中市市民ホール等指定管理者
後援: 在大阪ラトヴィア共和国名誉領事館、関西日本ラトヴィア協会
お問合せ: 豊中市立文化芸術センターチケットオフィス TEL.06-6864-5000(10:00~19:00 月曜休館)

the Latvian Radio Choir

in O S A K A

マリス・ヤンソンス、アンドリス・ネルソンス、ギドン・クレーメル、ミッシェル・マイスキー、エリーナ・ガランチャ等世界的に優れた音楽家を輩出しているラトヴィアは合唱大国としても名高く、その頂点に君臨しているのがラトヴィア放送合唱団です。驚嘆のテクニックと透明感溢れる美声、精緻を極めたアンサンブルは合唱の新たな次元を提示、聴衆の度肝を抜きます。巨匠ハインツ・ホリガーをして「世界一の合唱団」と絶賛するのも頷けます。パワーに頼らず大ホールを満たす十分な音量と高い芸術性は人間の声の魅力を改めて感じさせてくれます。世界最高峰の合唱をお楽しみください。



© Jānis Deinats



© Jānis Deinats

〈指揮〉

シグヴァルズ・クラヴァ *Sigvards Klava*

1992年よりラトヴィア放送合唱団の音楽監督兼首席指揮者を務める。

クラヴァのたゆまぬ努力の結果、ラトヴィア放送合唱団はその際立つ歌声によって国際的な評価を得て、世界の一流音楽祭に招かれ、著名作曲家、指揮者との共演を重ねている。

これまでにラトヴィア・グレート・ミュージック・アワードを数回受賞している。また、ラトヴィア内閣賞と三つ星勲章を授与された。

1990年よりラトヴィア歌曲音楽祭の首席指揮者を務めているほか、2000年にはヤーセプス・ヴィートリス・ラトヴィア音楽院の指揮科教授に就任した。ロイヤル・アルバート・ホール、エルプフィルハーモニー、コンセルトヘボウ、ベルリン・フィルハーモニーなどで指揮しているほか、多くの国際的コンクール審査、教育プロジェクトに参加している。客演指揮者として、オランダ放送合唱団、オランダ室内合唱団、ベルリンRIAS室内合唱団、ライプツィヒMDR放送合唱団はじめ多くの合唱団と共演している。

ラトヴィア放送合唱団

The Latvian Radio Choir

ヨーロッパのプロフェッショナル室内楽合唱団のトップに数えられるラトヴィア放送合唱団(LRC)は、レパートリーに見られる洗練されたセンス、表現力の素晴らしさ、驚くほど幅の広い歌声によって、世界中にその名が広く認知されている。1992年以降、音楽監督兼首席指揮者であるシグヴァルズ・クラヴァとカスパルス・プトニシュの2人の指揮者のもとで活動している。

LRCは人間の声のもつ可能性について新たな理解を打ち立てた。合唱の新たなパラダイムを作り上げたということもできよう。LRCにおいては、メンバー一人ひとりがそれぞれ明確な声の特徴と役割をもったひとつの個として存在する。

LRCはヨーロッパのプロ室内合唱団の協会であるTENSOの創設4団体のひとつであり、パートナーである。

ザルツブルク音楽祭、モンペリエ音楽祭などの世界トップの音楽祭をはじめ、バルト海音楽祭、クラングシュペーレン・フェスティバル、La Musica、ウルティマ・オスロ現代音楽祭、ヴェネツィア・ビエンナーレ、ホワイト・ライト・フェスティバル(アメリカ)、サウンドストリーム(カナダ)に参加したほか、アムステルダム・コンセルトヘボウ並びにミュージックヘボウ、コンツェルトハウス(ベルリン)、シテ・ドゥ・ラ・ミュージック(パリ)、リンカーン・センター(ニューヨーク)、聖母教会(ドレスデン)など、一流コンサートホールで公演している。またリッカルド・ムーティ、ハインツ・ホリガー、ラース・ウルリク・モルテンセン、スティーヴン・レイトン、トヌ・カリユステ、ジェイムズ・ウッズ、エサニペッカ・サロネンをはじめとする著名指揮者との共演も数多く成功させている。

会員サービスのご案内



- 特典
- ✓ チケットの優先購入 (指定公演のみ)
 - ✓ チケットの優待価格 (指定公演のみ)
 - ✓ 楽しい情報が隔月届く

年会費 **1,500円**
 年度会員(例: 2022年度会員の場合)
2022年4月1日から2023年3月末まで
 (または以降の入会日)

※豊中市立文化芸術センターWEBサイト、郵便振替からでも入会できます。

阪急「大阪梅田」駅より
約20分



豊中市立文化芸術センター
〒561-0802 豊中市曽根東町3-7-2

阪急宝塚線「曽根」駅下車
東へ約300m(徒歩5分)

※駐車場スペースは限られております。
 ご来館の際は、電車・バスなどの
 公共交通機関をご利用ください。



とよなかSDGs
パートナー

当館は豊中SDGs
パートナー登録施設です。